

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人伸康会 就職準備教室ココジョブジュニア		
○保護者評価実施期間	R7年 2月 1日		～ R7年 2月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 24
○従業者評価実施期間	R7年 2月 1日		～ R7年 2月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 2月 14日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者・保護者とも安心して安全に過ごせる事業所であると思 ってもらえている。また、支援に対する満足度は高いと思われ る。	基本的に全て送迎を行うようにしている。車・人の手配や配車 時間などのやりくりは大変ではあるが、保護者に送迎の手間を 掛けさせないということを大事にしている。 お休みの連絡や送迎の完了確認にメール・ショートメールを活 用しリアルタイムに近い情報を発信するよう努めている。	学校での様子や、教室での教師のサポートの意図などが分か ればより効率の良い療育につながると思われるため、学校と の連携が取れる機会をもっと取れると良い。
2	子ども達の状況にあった、また子供たちの興味を惹けるプログ ラムを組んでいる。5領域支援を見直すことで、運動の機会を 増やすことが出来た。活動のたびに振り返りを実施し、より洗 練・改良されなくてはならない。	習熟度や学年によって都度グループ分けを行い、活動の難易度 を変えていくようにしている。集中力を持たせるため、時によ って相性の悪い児童・相性の良すぎる児童を離すなどの配慮を している。プログラムが固定化しないよう、また利用日数の 少ない児童も全種類のプログラムを受けられるよう活動を組ん でいる。	活動を進めることで個別の問題や課題が判ってくるが、それ に対応する方法や教材を絶えず探さなくてはならない。イン ターネット上で探索することが多くなるが、使ってみて振り 返り、効果を検証してまた次に進むという作業が肝要だと思 う。
3	利用者の日々の状況をよく観察して保護者にフィードバックし 、良いモニタリングが出来るよう準備している。	保護者への支援も必要なことから、学校校とも連携して三者で 共有認識を持ち保護者にも支援計画に取り組んでもらえるよう 図っている。	保護者が広い視野を持てるよう、保護者会などの機会を設け 他者の事例を知り、保護者同士の連携を取り持つことも必要 になってくる。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援プログラムへの取り組みが弱い。	本人への支援と共に大事であり、必要であると感じている。問 題が発生したり課題がクローズアップされてきたときに相談を 受ける形で、または事業所側が気付いたことをお知らせする形 で保護者と話し合うことが多い。問題などが発生する前の普段 からの家族に対するアプローチは少ないように思う。	個別の家族への支援と共に利用者全体の保護者・家族に対す る情報発信や研修・会合などを増やしていかねばならないと 思う。
2	地域支援について、地域とのかかわり方にバリエーションが少 ないのではないかな。	現在行っている活動として、学校連携、地域の交流センターで のレク、グループ内の高齢者施設訪問、地元企業の見学、自治 体の施設見学・訪問、等がある。普段からレク活動などにおい て行ける場所を探しているが、やや傾向的に固定化しているか もしれない。	参加が可能な地域のイベントや児童館との交流、また将来の 就職を考えるための職場体験などの方向も意識して開拓して いくことが必要だと思われる。
3	事業所には様々なマニュアル(事故防災、緊急時対応、防犯、 感染症対応)があり、避難訓練なども実施されているが、その 内容が保護者にあまり届いていない。	事業所では月1回の保護者向け新聞を発行配布している。また HP上にも掲載し、運営規定と重要事項説明書も同様に掲載さ れている。しかし規定と重要事項説明は保護者に読まれているとは 言い難い。	保護者が良く読んでくれていると思われるココジョブ新聞に マニュアルに関する事例を取り上げて周知していく。また保 護者向けの研修会やマニュアルの保護者向け資料を作成する などの取り組みが必要だと思われる。